

林 重雄¹：愛知県渥美半島にフジツボの付着したアカウミガメの漂着

Shigeo HAYASHI¹ : Loggerhead turtle *Caretta caretta* stranded on the beach of Atsumi Peninsula, Aichi Prefecture, Japan

アカウミガメ *Caretta caretta* は、爬虫綱カメ目ウミガメ科アカウミガメ属に分類され、本種のみ1属1種からなる。本種は太平洋、インド洋、大西洋、地中海の熱帯および亜熱帯海域に広く分布し、4月から8月にかけて主に南西諸島から九州、四国、茨城県以南の本州太平洋側の砂浜で産卵する（中村・上野 1963；富田 2007）。

カメフジツボ、サラフジツボは、蔓脚亜綱完胸超目の中で無柄目に分類される。これらのフジツボは、アカウミガメやアオウミガメなどのウミガメ類に付着して成長する特徴がある（倉谷 2009）。

愛知県渥美半島の太平洋側には砂浜海岸が連続し、通称片浜十三里と呼ばれており、アカウミガメの産卵地としても有名である（田原市 2008）。また太平洋に面する海岸一帯は、数多くの漂着物が打ち上げられる場所として知られている（林 重雄ブログ）。2018年7月に愛知県田原市で、カメフジツボ、サラフジツボの付着したアカウミガメの漂着を確認したのでここに報告する。

漂着記録

2018年7月21日8時、田原市堀切海岸東部（図1）で漂着物の調査を行った。その際、当日の高潮線上で、漂着後間もないアカウミガメを確認した。アカウミガメは仰向けになって漂着しており、腐敗も進んでおらず甲羅に被われていない皮膚部分は非常に柔らかく弾力があり死後間もない個体であった。仰向けの状態であったため背甲長の計測はできず、腹甲長64cm、漂着時の全長110cmほどの大型個体であった。腹面の体色は明るいクリーム色で浜辺では目立つ存在であった（図2）。

付着していたカメフジツボ *Chelonibia testudinaria* は背甲に複数個あり、最大直径個体は48mm、最小直径個体は21.8mmであった。サラフジツボ *Platylepas hexastylus* は腹甲を中心として、背甲、頭部（嘴基部）にも複数個散見できた。最大直径個体は22mmで最小直径個体は2.8mmであった（図3）。採集したカメフジツボの殻底は開いており、これは移動のため特化した形態であろう（図4）。サラフジツボの殻底は閉じており5個の小さな突起が見られた（図4）。これはウミガメの皮膚に密着するための特化した形態であろう。

考察

7月21日8時、堀切に至近の伊良湖岬の天気は快晴、気温31.0℃、南南東よりの風速1.1m/sであった。7月21日の満潮は13時01分で、アカウ

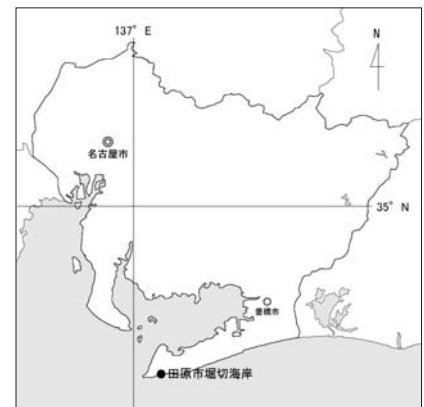


図1 調査地点の位置・愛知県田原市堀切海岸



図2 漂着したアカウミガメ *Caretta caretta*。腹甲上のスケールバーは10cm



図3 アカウミガメ *Caretta caretta* の頭部に付着したサラフジツボ *Platylepas hexastylus*。スケールバーは10cm

ミガメは潮位が154cmあった前日7月20日23時24分の満潮時に打ち上げられたものと思われた(気象庁ホームページ)。

尾部の途中からは赤紫黒色の陰茎が20cm以上露出しており、成熟した雄と判断した。この個体から腐敗臭は無く、この日の最低気温は25.4℃と熱帯夜であったが、死後の時間経過が少なかったため腐敗が進まなかったであろう。またカメフジツボには蔓脚を動かしていた個体もあり、漂着から発見までの時間も短かったことがうかがえた。この個体の死因については、頭部・腹甲部・背甲外縁部・尾部に外傷は見当たらなかったが、上嘴内部には血液が充満しており、船舶などとの衝突による頭部・頸部打撲による可能性が考えられるが、解剖は行っていないので不明である。



図4 アカウミガメ *Caretta caretta* に付着していたカメフジツボ *Chelonia testudinaria* (左) とサラフジツボ *Platylepas hexastylus* (右)。上が殻頂面で下が殻底面

謝辞：北海道教育大学札幌校の鈴木明彦教授には、粗稿を見ていただいた。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- 林 重雄ブログ. Beachcomber's Logbook (<http://beachcomb.exblog.jp/>) (2018年8月1日閲覧)
気象庁ホームページ. (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>) (2018年8月1日閲覧)
倉谷うらら. 2009. フジツボ 魅惑の足まねき. 118pp. 岩波書店, 東京.
中村健児・上野俊一. 1963. 原色日本両生・爬虫類図鑑, 214pp. 保育社, 大阪.
田原市. 2008. たはらの海辺の博物誌. 95pp. 田原市, 愛知.
富田京一. 2007. 日本のカメ・トカゲ・ヘビ, 180pp. 山と溪谷社, 東京.

(Received Aug. 10, 2018 ; accepted Oct. 5, 2018)

¹ 〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町3-155

¹ 3-155 Toriimatsu-cho, Kasugai City, Aichi 486-0844 Japan